

令和8年 第2回北九州市立図書館協議会 会議録

日 時： 令和8年5月22日（金） 14:00～15:05

場 所： 北九州市立子ども図書館大研修室

出席者

○委員（会長他10名、欠席委員4名）

北九州市立大学図書館長	浅羽 修丈（会長）
（一社）北九州市PTA協議会相談役	福田 百合加（副会長）
北九州市学校図書館協議会会長	上満 佳子
北九州市学校図書館協議会副会長	神村 恭子
公募委員	澤野 亜由美
公募委員	尾田村 福太郎
北九州市社会教育委員	大河内 哲子
北九州市婦人団体協議会理事	柿内 よし子
北九州市障害福祉団体連絡協議会事務局長	森 聖子
北九州児童文化連盟理事	八木 真恵
中小企業診断士	北嶋 知美

○事務局（中央図書館長他9名）

中央図書館長	田尾 弘
中央図書館副館長 子ども図書館長	高松 淳子
中央図書館運営企画課長	重岡 直之
中央図書館奉仕課長	佐藤 時子
中央図書館運営企画課庶務係長	倉田 武
中央図書館運営企画課デジタル企画係長	田島 利晃
中央図書館奉仕課奉仕係長	梶原 史織
中央図書館奉仕課資料係長	山口 典子
子ども図書館企画係長	日野 このみ
子ども図書館子ども読書活動推進係長	北谷 真司

○傍聴者 なし

会議次第

- 1 はじめに
- 2 新委員紹介及び事務局紹介
- 3 議事 (1) 令和8年度北九州市立図書館の事業計画について
- 4 その他

1 はじめに (中央図書館長挨拶)

日頃より市立図書館に対するご理解、ご支援を賜り、感謝申し上げます。令和7年1月に策定した図書館基本計画に基づき、「学び、やすらぎ、つながる」図書館を目指し、市民の皆様が様々な目的で気軽に立ち寄れ、地域とのつながりを作り出す交流拠点としての取り組みを進めているところでございます。

今年度は「ワクワクする居場所づくり」を目指した空間づくりや市民のチャレンジ支援等を行うとともに、「第5次北九州市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校図書館とも連携してまいります。引き続き基本計画に基づく取組状況などをご報告し、皆様からいただいたご意見を、充実した図書館運営につなげていきたいと考えております。

2 新委員紹介及び事務局紹介

事務局より、新委員紹介及び事務局紹介。

3 議事 (1) 令和8年度北九州市立図書館の事業計画について

北九州市立図書館基本計画の推進及び令和8年度北九州市立図書館の事業計画について、資料に基づき、事務局から説明。

(委員)

市民のチャレンジ支援として、今年度もビジネス支援のための講座を図書館で開催させていただく。今回は起業の基礎とプレスリリースをテーマとした2回連続の講座とし、参加者がすぐに行動に移せる実践的な内容となっている。成果指標として参加人数だけでなく、専門機関への相談件数など市民の行動変容を迫るようにしたいと考えており、委員の皆様にも成果を測るための良いアイデアがあれば、教えていただきたい。

(会長)

起業に対する心理的なハードルを下げ、すぐに行動に移すことができる魅力的なセミナーであると感じている。セミナーや講演会の効果を測る方法は難しく、いろんなアイデアがあると思う。皆様からも何かあればお願いしたい。

(委員)

重点項目にアップした「やすらぎと交流の場づくり」について、具体的な施策や仕組みを教えてください。

(事務局)

中央図書館において、来館者が気軽に立ち寄り、思い思いの時間を過ごせる魅力ある空間づくりを検討している。具体的には、カフェスタイルのソファやパーソナルチェアの導入など、少し会話や交流ができる「市民のリビング」のような空間づくりを進めていきたいと考えている。

(会長)

「市民のリビング」というキーワードが大変心に残った。散歩の途中で少し涼みたい、休みたい、立ち寄りたいたいと思う空間が実現できれば、図書館がより賑やかになるのではないかと期待している。

(委員)

大人向けの電子書籍の充実をととても楽しみにしている。シニア・年長者にとっては、デジタル化により文字の拡大が容易になる。今後のシニア世代の利用状況について、参考までに教えてください。

(事務局)

電子図書館は文字の拡大にも対応しており、シニア世代にも楽しんでいただけるよう進めていきたいと考えている。詳細な利用状況については、改めて報告をさせていただきたい。

(会長)

電子図書は電子図書の良さ、紙の本には紙の本の良さがあると考えている。ICTを用いることで、どんな教育効果、学習効果があるかを研究しており、電子教科書では視覚、聴覚を刺激しながら読書ができる。障害がある方でも見やすく工夫された形で表示もできる。電子図書で読書層が広がっていくことを期待している。

(委員)

電子図書のIDとパスワードが子どもたちに再交付されたことにお礼を言いたい。ますます電子図書館の活用が広まると期待している。学校現場でも活用できるよう声かけを行っていききたい。

(事務局)

この機会に改めて活用していただくため再交付を行った。また、貸出上限の課題に対し、同時に複数人が読める「読み放題プラン」も導入したので、ぜひご活用いただきたい。

(委員)

「としょフェス」というワードについて、大変興味深いですが、いつぐらいに、どのような内容

を計画しているのか教えていただきたい。

(事務局)

普段図書館に来ない方にも興味を持ってもらうため、毎年秋に行っている「図書館まつり」の名称を変更した。例年の著名人による講演会などに加え、大学等と連携したワークショップや図書館周辺のまち歩きなどを計画しており、本を読む目的以外で来館した方にも、展示の工夫などで本との接点を増やせるようなイベントにしていきたいと考えている。

(委員)

楽しそうなイベントで期待している。また、現在図書館でコーナーができて「おすすめの本」のリレー企画について、興味深く拝見した。今後も著名な方からの紹介が予定されているか教えていただきたい。

(事務局)

市の公式SNSで市長や教育長、子ども図書館長や、公式キャラクターていたんの推し本の紹介もしており、その一部を図書館で紹介している。今後の展開は未定だが、そのような企画があれば展示していければと考えている。

(委員)

北九州市にゆかりのある著名人からの紹介があれば非常に興味深いので、楽しみにしている。

(事務局)

昨年のイベントでは地元ゆかりのある町田そのこさんに講演していただき、著作も紹介した。読書によって人生を支えられたお話などがあり、これをきっかけに本を好きになる方が増えたら良いと思っている。今年も魅力ある方による講演会を企画していきたい。決まり次第知らせしていきたい。

(会長)

まちを歩くイベントは、活動もかねて非常に良い。良い季節の時に歩けば更に気持ちも高揚して、更に図書館に入ることによって図書館という場を知ってもらえるきっかけになると思う。成功を願っている。

(委員)

多様な主体とのつながりや地域との協働について、具体的な連携事例や、他の事業と一緒に実施するなどは可能だろうか。

(事務局)

間口を広く持ち、地域の郷土会や大学、学校、周辺の文化施設、ボランティア団体や福祉施設など多様な主体と連携している。合同企画などのご提案があれば、各図書館で創意工夫しながらできる範囲で柔軟に対応していきたい。

(会長)

図書館だけの活動にとどまらず、多様な団体と連携していくことで、これまでにない新しい観点や広がりを見せるのではないかと思う。自身は大学の人間なので、教育機関との連携を中心に考えてしまうが、教育機関に限らず幅広い団体とつながろうとされている点を、非常に素晴らしい活動だと感じた。今後さらに間口を広げ、さまざまなつながりを通じて図書館の活動が広がっていくことを期待している。

4 その他

北九州市子ども読書プラン（第5次北九州市子ども読書活動推進計画）について、事務局から報告。